

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	HOMMOKUもくりプロジェクト実行委員会
現在の主な活動 内容・活動実績	コミュニティスペース、畑(農作業体験、野菜作り他)・食育・園芸、みんなの(子ども)食堂、高齢者の憩いの場、趣味の共有の場(手芸部、書道部など)、放課後の小学生の利用、料理教室、防災講座の開催ほか
提案場所	中区 本牧満坂
提案名 (25字以内)	HOMMOKUもくりプロジェクト
提案する施設 (どのような施設の 提案ですか)	<p>リトルファームHOMMOKUもくりは、築80年を越える古民家(空き家)を再生して活動している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外との交流の生まれるキッチン・カウンターの整備 ただの通り道となっている建物北側部分を地域の人たちが立ち寄りやすい、立ち寄ってみたいくなる空間に。さまざまな目的でのキッチンの利用に対応できるように整備する。 2. 外構整備 農作業にいろいろな人が参加できるように作業場の整備(敷石、バリアフリー化)。収穫した作物などの加工・保存ができる貯蔵庫を設置。 3. 昔ながらの体験ができる施設の整備 昭和初期の家屋の雰囲気を経験できる施設なので、新たに古井戸の活用。かまどの整備。雨水タンクの設置などすることで、簡単便利な現代の生活を見直し、防災講座などが開催できる。 4. 雨水・污水溝の整備 利用が増えることで不備が生じないように、雨天時の庭の水溜り解消のため雨水排水溝の整備と、トイレの詰まり防止の污水排水溝を整備。 整備費用の概算額：約500万円
活用イメージ (提案する施設で どのようなことを 行いますか)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人による料理教室や、カフェの日やランチの日などバリエーションに富んだ楽しみ方ができるようにすることで、多くの人が訪れ、出会いや繋がりのきっかけを作る(茶飲み友達、ご近所付き合い、顔見知り)場になる。 ・畑を通して、農業体験や保存食(発酵食品)作りで交流を深める場としていく。また、収穫した野菜やハーブを使っての料理教室の開催、こども食堂のメニューに取り入れるなど食育に繋げていく。 ・井戸やかまどを設置することで、災害時に役立つ防災クッキングも実施する。 ・共通の趣味をもつ人たちの集える場としても開いていく。(染色、木工作業など)
提案の背景(なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	<p>今までの活動で、利用者や地域の方から「入り口がわかりづらい」「何をやっているのか(できるのか)がわからないので入りづらい」という声が多かった。そしてこの地域は住宅街で、公園、コンビニ、食事をするところ、休憩するところがないため、気軽に交流ができていく地域。家の建て替えが進んで新しい若い世代が増えている地域。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 孤立しやすい独居老人、高齢者、外国籍の方が多くいる地域なので少しでも地域に溶け込めるきっかけとなる場所。拠り所となる場所としたい。 2. 湧き水が豊富な地域であることから、古井戸を整備して活用できることを広めたい。 3. 中区内に畑があることが珍しいので、畑を通して食育や環境について考えるきっかけを作っていきたい。

<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	<p>地域の人たちが、ゆるやかに繋がっていて、いざという時支え合える関係ができています。</p> <p>1【コミュニケーション】（高齢者、未就学子育て世代、外国籍の人など） 多世代交流と孤立させないし顔の見える関係性を築いていける地域。</p> <p>2【防災】日頃より、危機管理意識を持っていて、隣近所と助け合えるような地域。</p> <p>3【環境】循環型の畑にすることで環境に配慮していけるような地域（自然を大切に。自然エネルギーの活用。生ごみのリサイクルなど）</p> <p>4【健康】未病、認知症などの予防をしていくことで心身共に健康な人がたくさんいる地域。（旬の野菜、みんなで食べる、自然を感じるなどを通して）</p>
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に必要な人材（DIY、チラシづくり、図面おこしなど）が地域で確保できる。 ・道具や材料（廃材、リユース・リメイク品）などを地域で確保できる。 ・建築の専門家に相談アドバイスを受けることができる。
<p>運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p>全体の運営は今まで通り運営委員会が担う。</p> <p>1.キッチン<small>の活用</small> みんなの食堂（子ども食堂）や、おやつタイム（年齢に関係なく参加できるおしゃべり場。絵本の読み聞かせや紙芝居など）、お茶会、ピザ作り、旬の野菜を使った食事会など利用したい人がいる。</p> <p>2.講座・教室<small>の運営</small> 趣味や特技の共有（そば打ちの技術や、お菓子作り、リース作り、習字、手芸など）がすでになされている。発酵食品作りや、染色も希望する人がいる。防災講座の開催などは生活クラブ生協と協働。地域ケアプラザ、民生委員、町内会などと連携して、高齢者を中心にした集まりに、未病、認知症等の予防を目的とした講座を開催する。</p> <p>3.畑<small>の運営</small> ボランティアで畑をやりたい、体験をしたい親子や大人が確保出来ている。近隣の小学校、幼稚園などとのネットワークもできている。 また、ワーカーズ・コレクティブ協会を通じて横浜市就労準備支援事業として運営スタッフの受け入れを行う。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>「もくり」のある場所は街なかの住宅地で、誰でも歩いて行ける自然体験の出来る場所です。緑の山に囲まれ、四季を感じながら広い庭で作物や花を無農薬で育てています。そうやって大切に育ててきた野菜を、調理して食べることで環境保全や食育を学べる場所にしていきたいのです。 これからももっともっとオープンにして年齢性別に関わらず幅広くより多くの人が利用しやすく気軽に立ち寄れる居心地の良い場所を目指します。</p>

注4）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5）への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
所有者	家の持つ良さを活かして、より多くの地域の人たちが集える場所にしてほしい。

注5）土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図





エントランスの細道



スリム
3R 夢農園の看板

リトルファーム
HOMMOKU
もぐり
現況の写真

台所の下にある古井戸



キッチンの外壁



元浴室の窓からキッチンへの外壁



キッチン内部

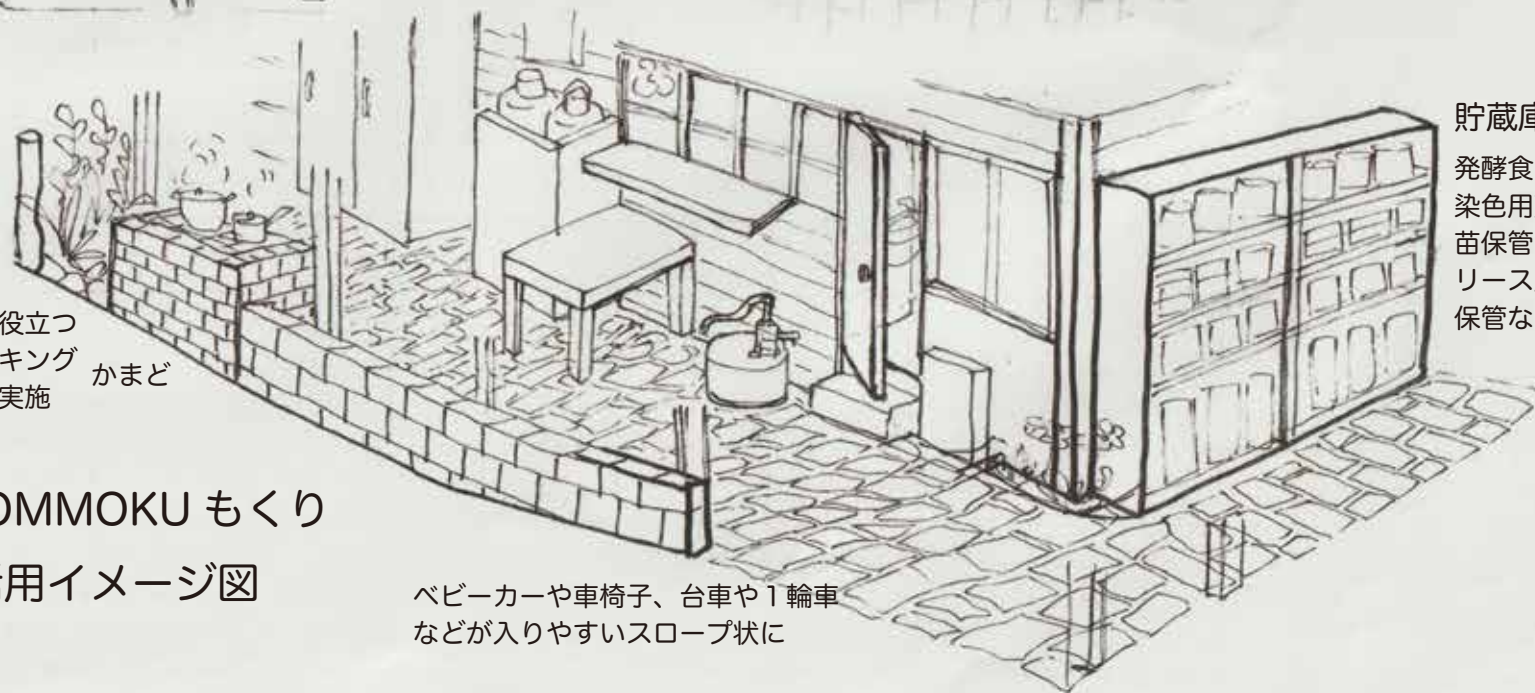
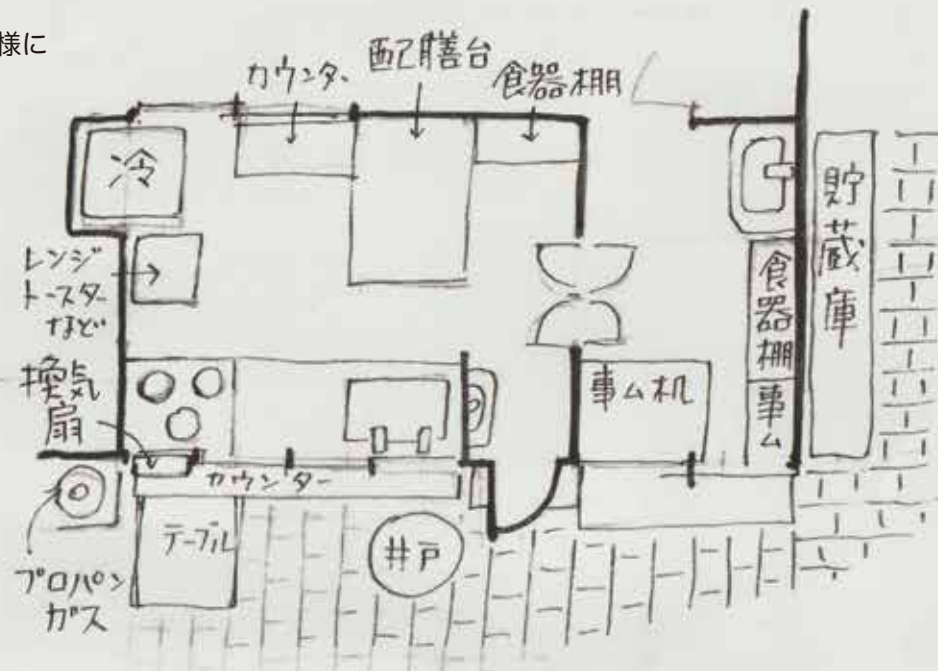
北側

東側





キッチンカフェ仕様に



災害時に役立つ
ポリッキング かまど
講座など実施

貯蔵庫
発酵食品
染色用藍保管
苗保管
リース用ツル
保管など

リトルファーム HOMMOKU もくり

活用イメージ図

ベビーカーや車椅子、台車や1輪車
などが入りやすいスロープ状に

これまでのもくり



雑草だらけの庭

築 80 年以上 10 年間空き家だった家屋を整備



畑作り



夕涼み会



収穫



蕎麦うち講習会



子どももそばが大好き



手作り縁台で日向ぼっこしながらの食事



春の花壇



みんなでピザ作り



ダンボールハウスも手作り